

鳥倉登山口看板

1500mm

1400mm

910
mm

900
mm

南アルプス鳥倉登山口～塩見岳ルート 登山道沿いの岩石
Accretionary Complex Rocks along the Trail to Mt. Shiomi

中生代ジュラ紀～白亜紀(2億年前～6600万年前)に、アジア大陸に沈み込んだ海洋プレートからはぎ取られた岩石(付加体)が露出しています。

付加体の岩石が誕生した場所と移動
Origin of Accretionary Complex Rocks

● チャート Chert
塩見小屋付近の灰白色で硬い岩石。石英質の殻を持つプランクトンの死骸が深海底に堆積してできます。豊口山鞍部付近にも見られます。

● 赤色チャート Red Chert
天狗岩付近に、鉄分を含む微細な粘土が混じった真っ赤なチャートが見られます。

● 緑色岩 Greenstone (altered and metamorphic ocean floor basalt)
塩見小屋の上の標高2800mから山頂までは、ほとんど緑色岩。もとは中央海嶺や海山を造った海底火山の玄武岩で、熱水変質と変成により生じた緑色の鉱物を多量に含んでいます。(夕立神展望台に緑色岩の説明があります)

● 石灰岩 Limestone
登山口の灰白色の岩石は、南の鳥のサングラスや石灰質の殻を持つ微細なプランクトンの死骸が造洋の海底に堆積した石灰岩。

● 砂岩 Sandstone
三伏山に露出する海溝堆積物の砂岩。

● 粘板岩 Slate
水場の上のガレ場に露出する海溝堆積物の泥岩(粘板岩)

塩川分岐 Shikawa Junction
三伏山 Mt. Sanpuku
三伏峠小屋 Sanpuku Pass Hut
水場 Spring
豊口山鞍部 Mt. Toyoguchi Saddle
現在地 Here
登山道 起点
ジュラ紀付加体
白亜紀付加体

仏像構造線 Butsuzo Tectonic Line
仏像構造線は、ジュラ紀の付加体と白亜紀の付加体の境界断層で、東京の五目市から沖縄の本部半島までたどれます。断層破砕帯から水が湧き、水場になっています。

アジア大陸の縁に成長した付加体
Growth of Accretionary Complex at the Margin of Asian Continent

もっと知りたい方は大庭村中央構造線博物館へ
More information at Oshika MTL Museum TEL. 0265-39-2205

南アルプスジオパーク・ユネスコエコパークへようこそ

Welcome to the Minami-Alps Geopark & Minami-Alps Biosphere Reserve

枠部分も茶色
に着色？

1290
mm

看板表面
のみ貼替
もしくは
看板表面
部分を広
げる。